

令和5年6月16日

各 位

日本ダイカストマシン工業会

第22回 日本ダイカストマシン工業会 オンライン技術セミナーのご案内

～ ダイカスト製造と設備のカーボンニュートラルへの取り組み ～

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なるご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

令和3年2月からオンラインセミナーを開始しましたところ大変ご好評をいただき、この度も開催することとなりました。

遠方の方々にもお気軽にご参加頂き、少しでも皆様のお役に立つことが出来れば幸いです。

時節柄ご多忙とは存じますが、幅広い関係者の皆様のご参加をお待ちいたしております。

敬具

日本ダイカストマシン工業会

【協賛団体】（7団体）

（一社）日本ダイカスト協会、日本ダイカスト工業協同組合、（一社）日本自動車部品工業会、
（一社）日本鋳造協会、（公社）日本鋳造工学会、（一社）日本マグネシウム協会、
（一財）素形材センター

【主催】

日本ダイカストマシン工業会

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 301 （一財）素形材センター内

TEL：03-6809-1509 FAX：03-3459-6911 アドレス：jdmma@sokeizai.or.jp

HP：<https://www.sokeizai.or.jp/pages/22/>

お問合せ受付時間 10:00～16:00（土日祝日休み）担当：木下、本間

※テレワークを実施している関係で担当者が不在の場合がございます。

事務局への問い合わせ等につきましては、メールでのご連絡をお願いいたします。

= お申込の詳細 =

【日 時】 令和5年8月25日（金） 13：15～16：30（開場13：00）

【開催方法】 オンライン開催（Cisco WebEx）

【参加費】 主催団体及び協賛団体会員 お一人様 8,000円

非会員 お一人様 12,000円

※1名様のお申込みで、複数名様のご視聴はご遠慮願います。

【定 員】 100名（定員に達し次第締切りとさせていただきます。）

【申込方法】 別添の「参加申込書」に必要事項をご記入の上、E-mailにてお申込みください。

【申込締切】 令和5年8月7日（月）

【支払期限】 令和5年8月14日（月）

参加申込書の受付後に、請求書を郵送いたします。

銀行振込受取書をもって領収書に代えさせていただきます。

**※請求書に記載のお振込み期限に間に合わない場合は、必ず振込予定日
をご連絡ください。**

【取り消し】 ①令和5年8月7日（月）以前にお取り消しのご連絡を頂いた場合は
参加費を、振り込み手数料お客様負担にてご返金いたします。

②令和5年8月8日（火）以降のお取り消しにつきましては
上記参加費の返金は出来ませんが、テキストをダウンロードして頂く
ことは可能です。

——— << お申込の流れ >> ———

1. 申込み用紙にご記入の上、E-mail(jdmma@sokeizai.or.jp)にお送りください。

↓

2. 申込受付完了のメールをお送りします。

（1週間以内に届かない場合は恐れ入りますがご連絡下さい。）

↓

3. 申込受付完了メール送信後、一週間以内に請求書を郵送いたします。

↓

4. 8月23日（水）（セミナー前々日）に招待メールをお送りします。

（テキストのダウンロード方法も記載。）

↓

5. 当日は招待メールに記載のURLからお入りください。

<< 注意事項 >>

- Cisco 社の WebEx を使用したオンラインセミナーです。セミナー参加のために、パソコンやタブレットなどの端末と、インターネット環境、メールアドレスが必要です。また、通信費は参加者負担になります。
- 講演中はカメラ、マイクを OFF にしてください。
- 映像や音声が乱れる場合がございますのでご了承ください。
- **本セミナーの録音・録画等は固くお断りいたします。**
- **本セミナーの参加用の招待 URL、パスワード等を外部に流出させる行為は、入室できる定員数が決まっているため、お申込み頂いた参加者が入室できなくなる可能性があります。そのため固くお断りいたします。**
- 参加者ご自身の機材や通信環境に関するトラブル等のお問合せには、事務局は対応いたしかねます。
- 中止または延期の場合には、日本ダイカストマシン工業会のホームページで発表するとともに、お申込者様にご連絡を差し上げます。

第 2 2 回 日本ダイカストマシン工業会 技術セミナープログラム

～ ダイカスト製造と設備のカーボンニュートラルへの取り組み～

| | | |
|----|--|-------------|
| 1. | 開会挨拶 技術委員会 委員長 波多野 和彦(芝浦機械㈱) | 13:15～13:20 |
| 2. | 需要動向 技術委員会 委員 山崎 政道(㈱ヒシヌママシナリー) | 13:20～13:30 |
| 3. | 『冷却工程から取り組むダイカスト工場の脱炭素化』 株式会社ファンクショナル・フルイッド 代表取締役社長 藤岡恵子 氏 | 13:30～14:10 |
| | 【内容】 ダイカスト成形は加熱と冷却を繰り返し、機械周囲への放熱も伴う電力多消費のプロセスです。冷却工程の温度を見直して省電力と高精度を可能にする二次冷却システムと適温冷却は、使用電力の削減と不良品率低下の両面から、工場のカーボンニュートラル化推進の第一の要である省エネルギーに貢献します。本講演では、この二つに加えて、冷却水と冷却工程の状態を 24 時間、離れた場所から把握できる「遠隔管理システム」など、熱移動の最適化と熱マネジメントに着目した最新技術を紹介いたします。 | |
| 4. | 『マグネシウムの普及拡大に向けた当社の取り組み ～ダイカスト用溶湯難燃性マグネシウム合金の現状～』 株式会社グローバルマグネシウムコーポレーション 代表取締役会長 野坂 洋一 氏 | 14:10～14:50 |
| | 【内容】 近年、自動車分野における車体の軽量化は、EV 化の加速によりますます重要になってきており、実用金属中最も軽いマグネシウム合金の適用拡大が期待されているが、地金製造プロセスやダイカストの溶解工程において温暖化係数の高い防燃ガスの使用がマグネシウム合金ダイカストの採用において少なからず課題となっている。そこで、昨今、当社が積極的に取り組んできた溶湯難燃性マグネシウム（ダイカスト）合金は、温暖化係数の低い代替ガスでの溶解が可能で溶解時の安全性も高まることから、現在では環境を考慮した材料として自動車メーカーを始めあらゆる分野から注目を集め始めている。また、溶湯難燃性マグネシウム合金はアルミ並みのインハウスリサイクルも可能であることからコスト競争力の向上にも寄与することが期待されている。ここでは、簡単に溶湯難燃性マグネシウム合金の開発事例と今後のマグネの拡大計画について紹介する。 | |
| 5. | 休憩 | 14:50～15:05 |
| 6. | 『グローバル EV 市場動向と当社戦略』 ニデック株式会社 車載事業本部 常務執行役員 早船 一弥 氏 | 15:05～15:45 |
| | 【内容】 EV 業界を取り巻く環境は日々変化しており、世界各国での環境規制強化による EV 化の推進に加えて、EV 価格の低下から 2025 年以降爆発的に台数が伸びることを想定しています。現状ではまだ自動車メーカーの内製が多い E-Axle も EV 台数増加とともに外製へのシフトが進むと考えています。中国・西欧を中心とした市場動向をお伝えすると共に、2025 年以降の爆発的な EV 台数の増加に向けて当社がとっている戦略の一部をご紹介します。 | |
| 7. | 『ダイカストマシンにおける環境負荷低減技術のご紹介』 芝浦機械株式会社 成形機カンパニー 成形機技術部 開発技術課 アシスタントチーフ 佐藤 公一 氏 | 15:45～16:25 |
| | 【内容】 自動車業界ではカーボンニュートラルの動きが活発になってきており、ダイカストマシンもその動向に対応していく必要があります。そこでダイカストの工程において、油圧と電動を効果的に使用する製品を検討しました。油圧駆動は高出力、高応答性が必要な射出や押出・中子の離型の瞬間に限定し、その他型開閉などは電動駆動としたものです。本報告ではダイカストマシンおよびその周辺機器について、カーボンニュートラルにつながる省エネルギーアイテムの取り組みを紹介いたします。 | |
| 8. | 閉会挨拶 技術委員会 委員長 波多野 和彦(芝浦機械㈱) | 16:25～16:30 |

※ 1 講演 40 分（質疑応答 5 分含む）